



やあ!



ya!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



「定住外国人のための パソコン教室」

パソコン操作に取り組む参加者のみなさん。写真右上は初日の自己紹介の様子。

県内の在住外国人への就職支援プログラムの一環として、初級者向けパソコン教室（1月12日～2月12日の水曜日と金曜日の2コース全5回）、及び中・上級者向けパソコン教室（1月19日・26日の全2回）を実施しました。

初級者向け教室では、パソコンの基本操作、文字入力練習、便利アプリの活用、インターネットの使い方、インターネットによる情報検索・就職活動などについて学習しました。最新のアプリを利用することで読めない漢字が分かるようになり、生活情報を入手したり、日本語学習にも役立てるようになりました。中・上級者向け教室では、今年度実施した「定住外国人のための就職支援セミナー」のフォローアップとして、主にパソコンによる履歴書作成を学び、個性を活かした履歴書を作ることができました。参加者からは「もっと学びたい!」、「仕事探しに役立つ!」、「仕事を探す方法や履歴書の書き方が勉強になった」と好評でした。

2016年3月号

No.134

Spring

2016年2月の台湾地震への救援のため、とちぎ国際交流センターに募金箱を設置しました。救援金 129,440 円は、日本赤十字社栃木県支部に全額送金したことをご報告します。皆さまのあたたかいご支援、厚くお礼申し上げます。

「外国人のためのハッピー子育てセミナー」 (真岡市、鹿沼市、宇都宮市)



▲「子どもが一番の応援団は親」と話す講師の山岡氏

に真岡市のフォーシーズン静風、同21日（土）に鹿沼市の鹿沼市民情報センター、12月5日（土）に宇都宮市のとちぎ国際交流センターで、中国やペルー、フィリピンなど10か国の外国人保護者と子ども、日本人支援者等3会場併せて62名が参加しました。

セミナーでは、多文化な背景を持つ家庭での子育ての話、海外での子育て支援の紹介のほか、子どもの話を心から聞くことの大切さや反抗することもコミュニケーションの一つといった子育てのアドバイスもありました。毎回、子育て経験のある地域の外国人などにご登場いただき、学校の先生とコミュニケーションをとる大切さ、他の日本人保護者との関わりで大変な時もあったなど様々なエピソードが話されました。後半はグループに分かれて、自分の子どもの心配な点や良い所について話し、子育ての大変さや楽しさについて参加者同士で共有しました。

子育て中の外国人などを対象とした子育てセミナーを県内3カ所で実施しました。講師は、多文化子育てネットワーク・情報教育研究所所長の山岡ティ氏。

11月14日（土）

「災害時外国人キーパーソンネットワーク会議」 (宇都宮市)

災害時の在住外国人への情報提供やニーズの把握などについて検討するため、県内の市町や国際交流協会



からキーパーソンとなる方を推薦いただき、11月28日（土）と1月16日（土）にネットワーク会議を行いました。キーパーソンは中国やブラジルなど10か国12名。1回目の会議では、これまでTIAや真岡市が災害時に行った外国人支援の紹介のほか、外国人同士の情報交換の方法やニーズについて意見交換を行いました。2回目は、災害時の情報を限られた時間で優先順位を決めて翻訳するシミュレーションを行いました。キーパーソンからは、わかりやすい翻訳のため工夫が必要だった、情報元原稿にフリガナがあると効率がいいなど活発な意見が出ました。今後もこのネットワークを継続し、災害時支援に取り組む予定です。

▲二つのグループに分かれての意見交換

「外国人の子育て支援のためのワークショップ」 ～必要な支援を考え、実行するためには～ (宇都宮市)

外国人の子育て支援のためには、どこに目を向け、どのような手法がより良いかを考えるワークショップを11月27日（金）にとちぎ国際交流センターで行い、国際交流団体のボランティアや



▲講師の柴垣氏(中央)と参加者

幼稚園職員など14名が参加しました。講師は多文化共生マネージャー全国協議会理事で富山県職員の柴垣 禎氏。講師からは、外国にルーツを持つ子どもの学習や生活面における困難な点等の説明がありました。参加者はグループにわかれ、課題に対する支援方法を企画し、発表を行いました。

「日本語ボランティア情報交換会」(宇都宮市)

外国人に日本語をボランティアで教える活動をしている方を対象に、日本語教室の課題や教え方の工夫について考える情報交換会を12月11日（金）にとちぎ国際交流センターで行いました。参加者は県内各地の日本語ボランティアなど20名。

講師は多文化共生リソースセンター東海代表理事の土井佳彦氏。前半は土井氏が、多文化共生社会における日本語教室として、学習者の多様性を意識する必要性や教室運営のアドバイスなどの講演。後半は、教室のボランティア不足、教材選び、学習者の定着など参加者が抱える課題ごとにグループに分かれ、現状の問題点の整理や解決策について話し合い、土井氏の提案も併せて意見交換を行いました。



▲講師の土井氏と活発な意見交換

「災害時外国人サポーター養成セミナー」(日光市)

災害時に日本語が十分でない外国人を支援する活動に関心のある方を対象としたセミナーを1月21日（木）に日光商工会議所日光事務所で開催しました。日光市役所や保育園、NPO団体、観光業など多分野から27名の参加がありました。講師は多文化共生センター大阪代表理事の田村



▲避難所の様子を説明する講師の田村氏

太郎氏。「災害時における外国人支援～外国人住民や海外からの観光客への対応について～」と題し講演。後半は避難所にいる外国人避難者への情報提供などについて話し合いました。

「定住外国人のための就職支援セミナー」(小山市)



▲熱心に質問する参加者

栃木県内の定住外国人を対象にした就職支援セミナーを、小山市中央公民館で開催しました。今回のセミナーは宇都宮市、那須塩原市でも開催された就職支援セミナーの第3弾。11月12日から12月10日までの毎週木曜日、全5回にわたって行い、中国、ペルー、ブラジル、ロシアなど19名が参加しました。セミナーでは履歴書の書き方や面接の受け方、職場の会話やマナーを学びました。また、レストランや工場の方による業務内容の紹介や、働く外国人の話も聞きました。希望者は職場見学に参加し、現場の臨場感を体験しました。

栃木県内の定住外国人を対象にした就職支援セミナーを、小山市中央公民館で開催しました。今回のセミナーは宇都宮市、

那須塩原市でも開

催された就職支援セミナーの第3弾。11月12日から12月10日までの毎週木曜日、全5回にわたって行い、中国、ペルー、ブラジル、ロシアなど19名が参加しました。セミナーでは履歴書の書き方や面接の受け方、職場の会話やマナーを学びました。また、レストランや工場の方による業務内容の紹介や、働く外国人の話も聞きました。希望者は職場見学に参加し、現場の臨場感を体験しました。

「外国人のための防災教室」(栃木市)

外国人に災害時の備えや避難所について紹介する防災教室を1月24日(日)に栃木第五地区コミュニティセンターで栃木市、栃木市国際交流協会と共催で行いました。



▲ブルーシートに座り避難所を体験

参加者は、ベトナムやスリランカなど6カ国の外国人と地域の日本人を併せて23名でした。講師に多文化共生マネージャー全国協議会事務局長の時^{とき}光^{ひかる}氏を迎え、災害について知ることの大切さや避難所について学びました。また、栃木県防災士会理事長の稲葉 茂氏により防災の基礎知識の紹介やハザードマップで避難所探しをしました。その後、非常食を順番に受け取り、グループにわかれてブルーシートに座り、新聞紙のスリッパなど防災グッズを手作りしました。

「多文化ソーシャルワーカー意見交換会」

(宇都宮市)

平成25年度から実施している多文化ソーシャルワーカー養成セミナー受講者を対象とした意見交換会を2月6日(土)にとちぎ国際交流センターで開催し、17名が参加しました。参加者



▲支援活動で気づきを話し合う参加者

からは、「国籍や考え方の違いによる問題に対して相談を受ける際に、その国に詳しい人の話を参考にしたい」、「生活習慣や常識などの理解が重要」、「継続的な事後研修をしてほしい」など様々な意見や要望が出され、活発な意見交換ができました。

「アクティブ・ラーニングでグローバル人材育成を」

(宇都宮市)

国際理解教育実践セミナー「アクティブ・ラーニングでグローバル人材育成を」を1月23日(土)にとちぎ国際交流センターで、かながわ開発教育センター(K-DEC)事務局長の木下理仁氏を講師に迎えて実施し、教員や一般県民、計25名が参加しました。



▲木下講師(中央)がアクティブ・ラーニングのポイントを説明

アクティブ・ラーニングとは、グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習方法のこと。前半はNHK番組「ココロ部！」の「こまったプレゼント」をテーマにディスカッションを、後半はタンザニアの地方都市の人の生活の様子



▲タンザニアの写真の内容を発表する参加者

の写真が何なのかをグループで討論・発表したり、タンザニアのある村を10年後に発展させるために、水道・電気・道路の3つのうちまず整備すべきものは何かを考えるアクティビティを行いました。参加者からは「学んだアクティブ・ラーニングを学校教育で取り入れたい」との感想がありました。

相談員・通訳協力者実務研修会

「日本の難民制度について」(宇都宮市)

各市町等で外国人の相談に携わる相談員や通訳協力者などを対象に、第2回相談員・通訳協力者実務研修会を2月6日(土)にとちぎ国際交流センターで開催し、23名が参加しました。

今回の研修会は、栃木県行政書士会の井上尉央氏を講師に迎えて、日本における難民認定制度やそれを取り巻く問題について学びました。講演では、難民の定義、難民申請後・認定後における在留資格の変更や難民と認定した事例・しな



▲ケーススタディのアドバイスをする井上氏

なかった事例等について紹介がありました。後半のケーススタディでは前半の講演をふまえ、事例を基に各グループで相談員としてどのような対応をするか話し合い、発表しました。参加者からは、「なかなか知る機会がない話題で参考になった」、「講師の説明が大変わかりやすかった」などの感想が聞かれ、大変有意義な研修会となりました。

「JICA 教師海外研修報告会」(宇都宮市)

平成27年度JICA教師海外研修報告会を2月13日(土)にとちぎ国際交流センターで開催し、教員や一般の方など29名が参加しました。この研修制度でウガンダ、ネパールを訪れた先生方、また現職教員特別参加制度を利用してアフリカ・ブルキナファソで青年海外協力隊活動に参加された先生より、それぞれの国の文化、研修内容や活動の様子が報告されました。

ウガンダ研修に参加した宇都宮市立横川東小学校の石塚美香先生は、ウガンダの子どもたちと学級の子どもたちとのメッセージ交換などの交流を通して、学級の子ども達の意識が変わっていく様子を紹介し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また参加者から「今回、ネパール、ウガンダ、ブルキナファソの3か国の話を続けて聞くことで、途上国の教育現場における問題や、それに対する日本の国際協力についても知る機会となりました」との感想がありました。



▲ウガンダと日本の子ども達の交流の様子を会場に展示

「国際理解セミナー 多様なラテンアメリカ」(宇都宮市)

国際理解セミナー「¡Una pura vida muy chévere! こんなに“多様”なラテンアメリカ ～スペイン語を聞いて、話して、コスタリカ、ベネズエラを体感しよう!～」を、2月13日(土)とちぎ国際交流センターで開催し、35名の参加者がありました。コスタリカ出身のRony Vargas Villalobos氏(宇都宮大学大学院)、高山(TIA 国際理解等推進員/元・ベネズエラ青年海外協力隊)が講師を務め、スペイン語体験ゲームあり、講師の手作りによる中南米のお菓子試食あり、盛り沢山の内容でお届けしました。



▲Rony 氏(左上)がコスタリカ特有の挨拶を紹介

後半のトークセッション「“多様”なラテンアメリカ」では、“食べ物が辛い” “スポーツといえばサッカー”など、ひとくりにされがちなイメージが、実は各国で違っていることを紹介しました。参加者は、ラテンアメリカ諸国に住んでいた方、関心がある方などで、楽しい交流の場となりました。

JICA
情報局

- ・ボランティア春募集開始
- ・中小企業海外展開支援相談窓口

JICA ボランティア募集説明会&体験談@宇都宮

【日時】4月16日(土) 14:00-16:00

【会場】とちぎ国際交流センター

皆さんの経験を「国際協力」の現場で生かしませんか?

JICAでは「青年海外協力隊」「シニア海外ボランティア」を4/1より5/9の期間で募集します。説明会は申込み不要・入場無料・入退場自由です。ぜひお気軽にご参加ください。

詳しくはWEBページ「JICA ボランティア」をご覧ください。

問い合わせ: JICA 栃木デスク 028-621-0777

JICA 中小企業海外展開支援事業 出張相談窓口開設

JICAは中小企業の皆様の開発途上国への海外展開を支援致します。

【開設日時】毎月第2・4水曜日 ※日程が変わる場合もあります。

【会場】とちぎ国際交流センター

【相談申込み・問い合わせ】JICA 筑波 市民参加協力課 小峯
電話 029-838-1117/メール Komine.Kenji@jica.go.jp

世界で活躍!! 派遣中 JICA ボランティア紹介

菊田 詩織さん 栃木市出身 ニカラグア派遣(中南米)
職種: 学校保健 派遣期間: 2015/6~2017/6

言語: スペイン語

グラナダ県グラナダ市内の県教育事務所に所属し、各学校を巡回して、保健指導や日本文化紹介をしています。ニカラグアの人々の笑顔に支えられ頑張っています!



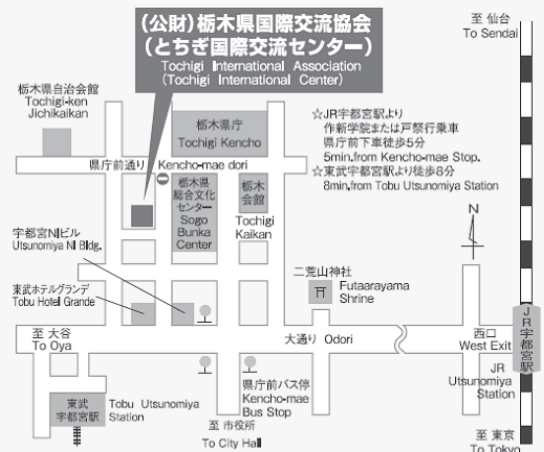
「宮っ子チャレンジウィーク」TIAで職場体験!

宇都宮市内の中学生が行う社会体験の一環とした「宮っ子チャレンジ」で、宇都宮市立古里中学校2年生の大平真奈美さん、金子梨花さん、山口愛華さんが11月10日(火)~13日(金)TIAの業務のお手伝いや海外を紹介する展示など職場体験を行いました。また、海外や国際協力も学び、さらに興味を持ってくれたようです。



▲世界のクリスマスを紹介した3人

TIAご案内図



編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30~17:15
休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日